

# バブルは必ずはじける

## イラク戦争と金融工学が危機を助長

今回の金融危機の影響は計り知れない

今年世界的に不況が一層深刻になるのではないかと懸念されています。

昨年九月、アメリカのサブプライム問題に端を発した金融危機によって巨大証券会社・リーマンブラザーズが倒産。それ以降、ニューヨーク証券市場が混乱して急速に金融収縮がおこり、世界中がアメリカ発の不況の嵐にまきこまれていきます。

今回の経済危機はアメリカでの住宅バブルとサブプライム問題が発端。原油先物取引価格の急騰が引き金になり、穀物をはじめとして物価が上昇。世界はバブル経済に翻弄されました。しかしバブルはいつかはじけます。バブル破綻の第一

# 続



## サイエンティストの目

森 利明

(もり としあき)

大阪府立大学 先端科学イノベーションセンター



号はオランダであったチューリップ投機でした。トルコから輸入されたチューリップの球根に高値が付き、人々がチューリップ球根の投機にはいるなかで一六三七年に価格暴落。世に「チューリップバブル」です。この後世界は何度もバブルを経験してきました。日本でも住宅バブルがおこったことは記憶に新しいところです。しかし今回はアメリカが震源地で、その影響がはかりしれないくらいに大きいことが特徴です。

イラク戦争での巨額な戦費が世界経済を不安定に

〇二年(徳間書店)。ステイグリッツ氏はクリントン政権時に大統領経済諮問委員会の委員長をつとめ、その後にはIMFや世界銀行で要職を経験した超大大物。南アメリカやアフリカ諸国、旧東欧、アジアなど各地をまわってグローバル経済の影響を調査。発展途上国の貧困問題がアメリカを中心とした先進国の無関心や、IMFがとってきた経済政策のあやまりによって拡大されてきたことを率直に批判しています。また昨年には「世界を不幸にするアメリカの戦争経済 イラク戦争三兆ドルの衝撃」(徳間書店)を発表して、ブッシュ政権がイラク戦争で支出した三兆ドルもの巨額の戦費がアメリカだけでなく世界経済を不安定にしていると指摘しています。

世界の株式市場は危機にみまわれています。危機を作り出した原因のひとつに今はやりの金融工学があります。日本の数学者・伊藤



伊藤 清 (1915-2008)

清(一九一五〜二〇〇八)が生み出した確率微分方程式は伊藤の定理とよばれています。ブラック・ショールズ方程式といって、金融派生商品(デリバティブ)の価格づけに使われる方程式を解くときに、伊藤の公式が重要な役割をはたしています。また伊藤の公式なくしては、激しく変動する株式や金融商品の価格変動をコンピュータで計算することは不可能。伊藤先生は昨年亡くなりましたが、暴走する金融工学の現状をどう思われたでしょうか。わたしたしなら「仏つくつて魂を入れ忘れたからじゃ。カッ!」と一喝したいです。

(もり としあき)

当シリーズのタイトルの挿絵、2009年から、昨年ものから上記のものに替えました。